

平成28年2月29日

学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校
平成27年度 教育課程編成委員会報告書

学校法人聖ヶ丘学園 聖ヶ丘教育福祉専門学校校長
教育課程編成委員会委員長
井上 貴 恭

平成27年度、教育課程編成委員会を実施しましたので、下記のとおり報告します。

1 委員 <11名>

番号	氏名	所 属
1	園田 菜摘	横浜国立大学教育人間科学部准教授
2	斉藤久美子	学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校附属育和幼稚園副園長
3	江津 秀子	学校法人聖ヶ丘学園八幡橋幼稚園園長
4	秋山菜穂美	学校法人聖ヶ丘学園うみの風保育園園長
5	雨池ヒサ子	学校法人聖ヶ丘学園にじの風保育園園長
6	増田ツヤ子	学校法人聖ヶ丘学園ひかりの風保育園園長
7	井上 貴恭	学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校校長
8	古澤 昇	同 副校長
9	遠藤 政男	同 事務長
10	今村 雅彦	同 教務部長
11	亀田 良克	同 就職指導部長

陪席者 <2名>

学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校
宮本安希子教務部員 田島めぐり教務部員

2 教育課程編成委員会開催日時

第1回 平成27年7月22日(水) 16:00~18:00

第2回 平成28年1月20日(水) 14:00~16:00

<開催場所> 聖ヶ丘教育福祉専門学校 1階 会議室

3 委員会次第

第1回委員会次第

- (1) 学校長挨拶
- (2) 平成27年度教育課程編成委員会の概要説明
- (3) 平成26年度教育課程編成委員会報告書に係る措置状況について
- (4) 平成27年度教育課程改善方策について
- (5) 意見交換
- (6) 次回の議事内容及び日程等
- (7) その他

第2回委員会次第

- (1) 委員長挨拶
- (2) 教育課程編成委員会規程の改正について
- (3) 平成27年度教育課程改善報告
- (4) 質疑応答
- (5) 平成28年度教育課程編成についての提言
- (6) 次回の議事内容及び日程等
- (7) その他

4 議事報告

(1) 平成27年度教育課程編成改善報告

① 学生による授業評価アンケートの実施

前期授業評価アンケートの実施結果から、総合評価の平均が4段階評価の「3.2」で、全学生の約8割が開設科目に満足していることが読み取れ良好といえる。しかし、アンケート項目11の自由記述欄の学生の記述内容を見る限り、学生の授業を見る目はまだ充分とはいえない。欠席回数が多い学生ほど、授業評価を低く記入したり、自由記述欄に教員に対する私的感情をストレートに書いたりする傾向が認められる。後期に向け自由記述による学生の感想・意見欄を工夫したとのことだが、授業のよかった点や改善すべき点の二点を問うこと、学生が自分の書いた文章に責任をもつ意味でも学籍番号を書く欄を設けることも考えられる。後期授業アンケートの実施結果にもよるが、是非改善策として検討願いたい。

なお、教員の授業改善に向けた振り返りと今後の指導は自由記述とのことだが、複数科目を持つ教員への配慮も必要ではないか。全員提出を望むのであれば、全ての非常勤講師、専任教員の事務量の負担軽減のためにも、学生による授業評価アンケートのように、共通項目を作成し、評価を丸で囲むなど、さらに様式の工夫改善に取り組みしてほしい。

② 常勤及び非常勤教員の協業体制の構築

同一科目担当者が協業体制を図るためにも非常勤講師打合せにおいて、情報交換の場として分科会があるのはよいことである。授業の目的やねらい、教材の工夫、教育方法・手段等について、一層の充実を図っていただきたい。専門学校だから出来ることであるので、今後も継続を望みたい。

③ 文章力向上

今回、教材として日誌を題材にしたことは、学生が必要感や当事者意識を持って取り組んでおり、それなりに意義があったといえる。なお、教職実践演習は卒業年次生が対象となるため、実習に行く前に、より早い段階で文章力の強化ができることが望ましい。

今の学生は書くことをおっくうがる傾向にある。そのため1年生のうちから書くことに慣れる必要がある。日常生活の中で書く機会や場を設け継続することや、要点や要約する能力も求められている。是非具体的方策を検討していただきたい。

マナー月間を前期・後期の年2回学期初めに実施とのことだが、そこに学生の言葉遣いをあわせ意識させることは、話す力の向上、国語力の向上にも繋がると考える。

④ 一般常識及びマナー等の習得に向けて

社会人の素養として求められる一般常識及びマナーについては、前回委員会で配付した本校教員向けアンケートの結果を基に授業資料「チョットひとこと」を作成し、半期15回の就職指導授業内において学生に教授してきたとのことだが、成果も出ている。今年度のような形での実践を次年度も継続するよう望みたい。

(2) 平成28年度教育課程編成改善方策について

① 学生による授業評価アンケートの継続実施

後期に実施した授業評価アンケートの結果をもとに、自由記述欄の検討を含めアンケート内容を更に精査し授業評価の実施を継続願いたい。また、教員の授業改善に向けた振り返り用紙についても形式等を工夫するなど、複数科目を担当する教員の負担を軽減する配慮も望みたい。

② 常勤及び非常勤教員の協業体制の構築

非常勤講師打合会に於いて、情報交換の場として分科会があるのはよいことである。常勤及び非常勤教員の協業体制の構築に向けた取り組みについては、今後も様々な方策を検討し継続することを期待すると共に、成果を報告願いたい。

③ 文章力等の向上の取り組み

平成28年度も文章力向上を重点とした取り組みを継続実施すべきである。また、表現力の向上については、今後も演習科目等でディベート、プレゼンテーション、ロールプレイ等の手法について行っていくとともに、さらに学生に討議した自分の考えを発表する場の提供も考えていただきたい。なお、文章を書く上での意識すべき事柄についての指導は1学年から実施すべきと思料するが、このことについても次年度は是非一歩踏み込んでもらいたい。

また、その他の学力向上の取り組みとして、次年度新たに学期初めのマナー月間の取り組みに期待したい。今まで取り組んできた学習の際のマナーにあわせ、子どもたちの日本語の教師となる保育者として、言葉遣いも意識できるよう是非取り組んでいただきたい。

④ 一般常識やマナー等の習得

よい結果が出ているので、今後も継続することを望みたい。

以上